

# オンラインセミナー開催

## コロナ影響下での自家保険活用策を紹介

### ラブアンIBFC

ラブアン国際金融センター(Labuan IBFC)は10月15日、ジャパン・リスク・スペシャリスト(株)の協賛で「自家保険とPCC パンデミック期の解決策となりえるか」をテーマにウェビナー(オンラインセミナー)を行った。日本企業が自家保険制度を活用することのメリットに焦点を当て、ラブアンIBFCの最近の活動を紹介するとともに、自家保険制度の考え方、PCCスキームの有益性などについて解説した。

ラブアンIBFCでは、毎年開催しているセミナー形式のイベントが、新型コロナウイルス感染拡大の影響でかなわず、今回はウェビナーにより

は、毎年開催しているセミナー形式のイベントが、新型コロナウイルス感染拡大の影響でかなわず、今回はウェビナーにより

日本企業を念頭に開催されたが、マレーシア、シンガポールなどのアジア諸国、また、英国、スイス、米国からの参加者を含め、120人ほどが参加した。

ウェビナーの冒頭、ラークン&アソシエーツ(株)でシニアマネージャーを務める岡田大作氏が「日本の中小企業における自家保険利用におけるメリット」というテーマで講演した。国際税務の経験者として社内留保の必要性、その有効な手立てとしての自家保険、キャ

ブタイプ制度を紹介し、留意すべき税制度について解説した。次に、ジャパン・リスク・スペシャリスト代表取締役の荒木直義氏が「自家保険の概念における革新的なアプローチ」

スクームの概要や利点、ラブアンでの法制度などを詳細に述べた。活用例としてAPI(アプリケーションインターフェース)を用いた事例を案内した上で、同社がラ

金融センターCEOのフアラ・ジャファール・クロスビー氏が「キャプティブ、PCCのドミナイルとしてのラブアンIBFC」と題し、ラブアンの地理的な利点や国際的に求められる規制を満たした法制度を紹介するとともに、2019年、20年上半期において進展

## メリット多いPCCスキーム



画面上でパネルディスカッションが行われた

著しいラブアンIBFCの成長を報告した。また、ラブアンにおけるキャプティブに関する法制度やPCCの概要に触れ、日本企業にとってラブアンがキャプティブドミナイルとして有益だと述べた。

最後に、プレゼンテーションの合間に行われたアンケート、またチャット機能を通じて寄せられた質問を取り上げる形でパネルディスカッションを行い、約90分のウェビナーを終えた。